



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全かつ円滑な通行を確保するため

歩道と自転車通行帯を設置します

地元の声

- ・小学校の通学路となっているため、登下校する児童の安全を確保してほしい。(地元住民、学校関係者)
- ・道が狭く自転車と車との接触が心配なので、自転車と車の通行を分けてほしい。(地元住民、学校関係者)

事業前

- ◆ 歩道がないため、歩行者・自転車と自動車が錯綜し、交通事故の危険があるほか、交通の流れが悪くなっています。



事業前の状況

事業後

- ◆ 車道と歩道の分離と自転車通行帯の整備により、歩行者と自転車の安全な通行空間を確保するとともに、交通の円滑化を図ります。



事業後のイメージ (一例)

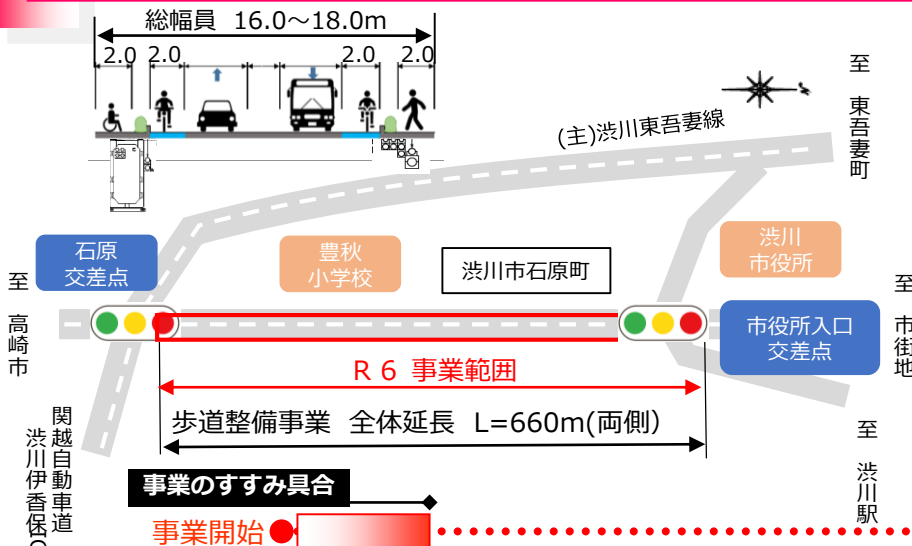
事業の概要

- 事業箇所：渋川市石原
- 事業内容：歩道整備延長 660m
歩道幅2.0m
自転車通行帯2.0m
電線共同溝整備延長 1,320m
- 事業期間：令和3年度～



事業位置
渋川市

事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

- ・令和6年度は用地買収を行います。



事業完了